

香川高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)		授業科目	表現コミュニケーション I	
科目基礎情報							
科目番号	1111			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	通信ネットワーク工学科 (2019年度以降入学者)			対象学年	1		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	それぞれの担当教員が準備する教材を使用する。						
担当教員	田村 昌己,内田 由理子,森 和憲,畑 伸興						
到達目標							
人文系科目 (国語、英語、社会) の内容言語統合型授業を行うことで、社会事象や異文化に対する教養の涵養と、コミュニケーションに必要な4つのスキル (読む、書く、聞く、話す) の全体的な向上と豊かな表現力の育成を図る。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 聞く能力	論理立てた日本語や簡単な英語の文章を聞き、その内容を把握できる。			日本語や英語のまとまった文章を聞き、その内容を把握できる。		日本語や英語のまとまった文章を聞いても、その内容を把握できない。	
評価項目2 読む能力	目的に応じて、自主的に印刷物、インターネットから適切な情報 (英語を含む) を収集できる。			教員の指示により、印刷物、インターネットから適切な情報 (英語を含む) を収集できる。		教員から提供された印刷物、インターネットから適切な情報を収集できない。	
評価項目3 書く能力	自分の考えを論理立てて日本語で書くことができる。また、簡単な英語の文章を書くことができる。			教員の補助があれば、自分の考えを論理立てて日本語で書くことができる。また、簡単な英語の文章を書くことができる。		自分の考えを論理立てて日本語で書くことができない。また、簡単な英語の文章を書くことができない。	
評価項目3 話す能力	調べたことに関して、論理立てて話すことができる。また、自分の意見を簡単な英語で話すことができる。			調べたことに関して、日本語または英語を用いて簡単に説明ができる。		調べたことに関して、日本語または英語を用いて簡単に説明ができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	人文系科目の内容統合型授業を行う。チームを組んで持続可能な社会のあり方、国連目標のSDGsに関して調査、分析、検証し、それを日本語と英語の両方でプレゼンテーションすることにより、歴史や異文化に対する教養を身につけ、さらに、コミュニケーション能力の全体的な向上を目指す。						
授業の進め方・方法	1年を2等分して、以下の授業を行う。1) 社会：チームを組んで、持続可能な社会のあり方、国連目標のSDGsに関して調査、分析、検証し、その内容を日本語でプレゼンテーションする。2) 英語：社会の授業で作成したプレゼンテーションスライドと原稿を英語で再度プレゼンテーションする。そのための翻訳方法を学ぶ。						
注意点							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス, チームビルディング		学習内容及び到達目標を理解し、取り組む課題を設定できる。 B1-3		
		2週	計画立案と情報収集 (グループワーク)		グループで議論しながら目標達成のための計画を立て、異文化に触れながら様々なレベルの情報を収集する (学習・調査等) ことができる。 A1:1-3, B1-3		
		3週	計画立案と情報収集 (グループワーク)		グループで議論しながら目標達成のための計画を立て、異文化に触れながら様々なレベルの情報を収集する (学習・調査等) ことができる。 A1:1-3, B1-3		
		4週	調査、分析、検証 (グループワーク)		グループの一員として役割を担い、調査、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3		
		5週	調査、分析、検証 (グループワーク)		グループの一員として役割を担い、調査、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3		
		6週	調査、分析、検証 (グループワーク)		グループの一員として役割を担い、調査、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3		
		7週	調査、分析、検証 (グループワーク)		グループの一員として役割を担い、調査、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3		
		8週	プレゼンテーション演習 (プレゼンの基礎を学ぶ・プレゼン資料の製作)		グループの一員として役割を担い、調査、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3		
	2ndQ	9週	プレゼンテーション演習 (プレゼンの基礎を学ぶ・プレゼン資料の製作)		グループの一員として役割を担い、調査、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3		
		10週	プレゼンテーション演習 (プレゼンの基礎を学ぶ・プレゼン資料の製作)		グループの一員として役割を担い、調査、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3		
		11週	プレゼンテーション演習 (プレゼンの基礎を学ぶ・プレゼン資料の製作)		グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3		

後期		12週	発表会 1	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3
		13週	発表会 2	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3
		14週	発表会 3	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3
		15週	発表会 4	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3
		16週	成績確認	内容の理解度を確認する。
	3rdQ	1週	計画立案 英作文指導	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3
		2週	制作、分析、検証（グループワーク）	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3
		3週	制作、分析、検証（グループワーク）	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3
		4週	制作、分析、検証（グループワーク）	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3
		5週	制作、分析、検証（グループワーク）	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3
		6週	制作、分析、検証（グループワーク）	グループで議論しながら目標達成のための計画を立て、異文化に触れながら様々なレベルの情報を収集する(学習・調査等)ことができる。 A1:1-3, B1-3
		7週	制作、分析、検証（グループワーク）	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3
		8週	制作、分析、検証（グループワーク）	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3
	4thQ	9週	制作、分析、検証（グループワーク）	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3
		10週	制作、分析、検証（グループワーク）	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3
		11週	制作、分析、検証（グループワーク）	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3
		12週	制作、分析、検証（グループワーク）	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3
		13週	発表会 1	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3
		14週	発表会 2	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3
		15週	発表会 3	グループの一員として役割を担い、制作、分析、検証を行い、より精度の高い成果物を完成することができる。 A1:1-3, B1-3
		16週	成績確認	内容の理解度を確認する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	0	80	0	0	20	0	100	
基礎的能力	0	80	0	0	20	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	